

作成年月日	平成22年10月18日
作成部局課室名	企画県民部知事室広報課広聴室

## 県民モニター「第2回アンケート調査」結果概要

### 1 調査概要

- 調査テーマ:「がん検診等に関する意識調査」
- 調査対象者:県民モニター2,254人(7月30日までの登録者)
- 調査期間:平成22年7月29日(木)~8月11日(水)[14日間]
- 調査方法:県ホームページ上のアンケートフォームに記入
- 回答者数:1,032人(回答率45.8%)
- 自由記入欄:9箇所設定(回答者の51.4%がいずれかに記載)

<参考 - 対象者及び回答者属性>

		対象者	回答者	回答率
総数		2,254	1,032	45.8%
性別	男性	1,251	616	49.2%
	女性	1,003	416	41.5%
年代別	10~20代	154	49	31.8%
	30代	417	132	31.7%
	40代	452	173	38.3%
	50代	370	171	46.2%
	60代	552	320	58.0%
	70~80代	309	187	60.5%

### 2 調査結果の概観

#### (1) がん検診受診状況について

項目	アンケート結果(主な意見)	結果の考察
がん検診は早期発見・治療につながる重要な検査と思うか	そう思う(77.5%) どちらかといえばそう思う(17.8%) どちらともいえない(3.5%)	ほとんど(95.3%)の人が、がん検診の重要性について認識しているが、受診経験者は3分の2程度にとどまっていることから、より一層、受診勧奨に力を入れる必要がある。
がん検診を受診したことがあるか	ある(64.8%) ない(35.2%)	
がん検診をどのような機会に受けたか	職場でのがん検診(40.8%) 市町が行うがん検診(40.4%) 自費で個人的に受診(15.1%) 【男性】 職場48.1% 市町36.0% 【女性】 職場31.3% 市町46.0%	受診機会については、「職場」と「市町」を合わせると、約8割(81.2%)を占めている。男性では半数近くが「職場」、4割弱が「市町」で受診しており、女性では約3割が「職場」、半数弱が「市町」となっている。無職者や主婦の多くは「市町」を受診機会することが多いと考えられることから、市町がん検診の受診を促進する必要がある。
がん検診を受けない理由	費用がかかる(32.8%) 心配な時は医療機関を受診する(32.5%) 時間がとれない(17.4%) 休日夜間に受けられない(10.5%)	がん検診を受けない理由として、「費用」「医療機関を受診する」「時間等(27.9%)」を挙げる人がそれぞれ約3割となっている。がん検診は、症状のない時に定期的に受診することで、早期発見・治療が可能となり、医療費の軽減にもつながるとの認識が十分でないことがうかがえる。がん検診の受診意義について、さらに啓発が必要である。

#### (2) がん検診受診の体制づくり

どのような条件であればがん検診を受診するか(複数回答)	無料で受けられる(48.1%) がん予防や気になる症状について検診時にアドバイスを受けられる(39.8%) 各がん検診が一度に受けられる(39.1%) 職場や自宅の近くで受けられる(35.0%) すぐに検診の予約ができる(31.2%)	受診の条件を「無料」としている人が5割近く、検診時のアドバイスや複数のがん検診の同時受診を求める人もそれぞれ4割近くいることから、費用面の軽減だけでなく、特定検診時に付加検診としてがん検診を受診できる等の利便性の工夫も重要であると考えられる。
自己負担費用は1検診いくらまでなら受診するか	無料(12.8%) 500円以下(10.5%) 1,000円以下(44.2%) 3,000円以下(27.6%)	自己負担額について、3分の2程度(67.5%)が1,000円以下を希望している。現状の市町におけるがん検診の受診料は、大腸がん検診を除き、概ね1検診1,000~3,000円となっており、費用面での軽減を望む声も多い。
がん検診を勧める情報をどこで見聞きしたか	市町の広報(65.4%) 病院・診療所・検診機関等医療施設(41.6%) テレビ・ラジオ(33.1%) 職場の広報(16.0%)	概ね3分の2が市町の広報から情報を入手していることから、市町の広報における、がん検診情報の内容についてさらに充実を図っていく必要がある。一方、職場の広報を挙げる人が少ない。職場を通じた啓発を促進する必要がある。

#### (3) 肝炎ウイルス検査について

肝炎ウイルス検査を受診したことがあるか	受診したことがない(63.0%) 受診したことがある(29.8%) わからない(7.2%)	未受診者が6割を超えており、肝炎及び肝炎ウイルス検診について、さらに普及啓発が必要である。
どのような機会に肝炎ウイルス検査を受診したか	職場における健診(28.9%) 市町が行う健診(27.9%) 通院先の血液検査(17.9%) 全額自己負担で個人的に受けた検診(13.0%)	6割弱(56.8%)の人が市町や職場で受診している。未受診者を減らすため、市町や職場での受診をさらに促進する必要があることから、市町や職場が実施する特定健診やがん検診時に併せて受診するよう、未受診者へ働きかけていくことが必要である。

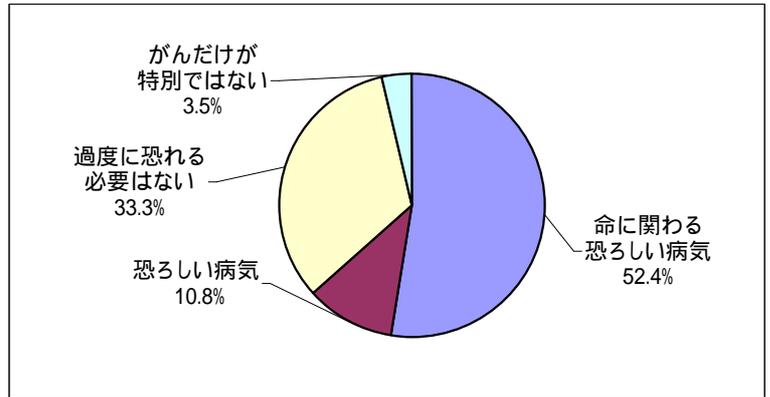
平成20年2月に策定した「兵庫県がん対策推進計画」における目標受診率の達成に向け、現状や課題の把握、施策の効果を検証し、新たな施策の検討・実施の参考とする。

### 3 調査結果

#### (1) がん検診受診状況

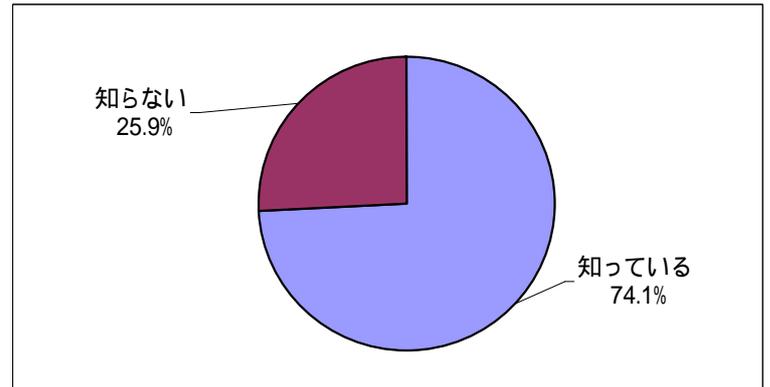
Q1 がんに対してどのような印象を持っているか  
(1つ選択)

- (1) 命に関わる恐ろしい病気 52.4%
- (2) 命に関わるとまではいかないが恐ろしい病気 10.8%
- (3) 早期発見・治療で治癒するので、過度に恐れる必要はない 33.3%
- (4) がんだけが特別ではない 3.5%



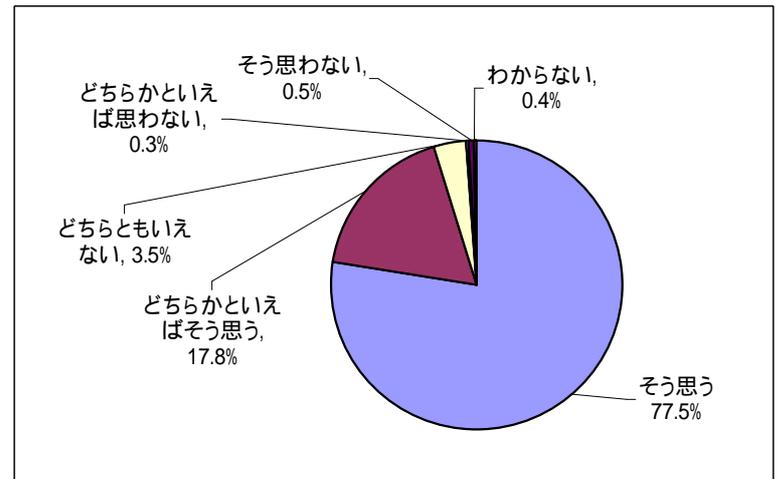
Q2 がん検診は市町や勤務先で受診できるが、国が対象年齢や検査項目を定め、受診を推奨していることを知っているか(1つ選択)

- (1) 知っている 74.1%
- (2) 知らない 25.9%



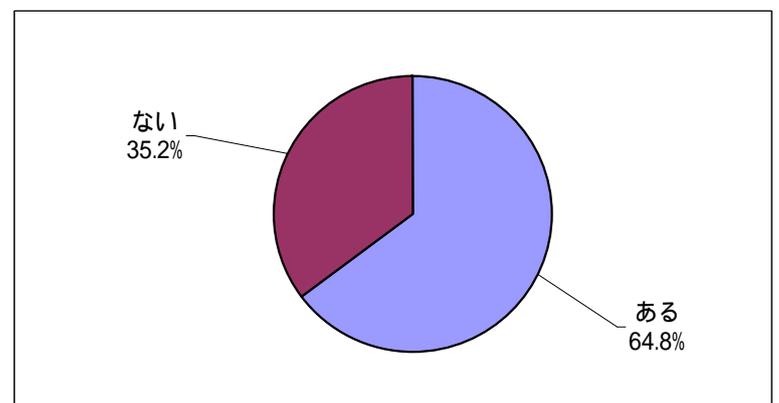
Q3 がん検診は、がんの早期発見・早期治療につながる重要な検査だと思うか(1つ選択)

- (1) そう思う 77.5%
- (2) どちらかといえば思う 17.8%
- (3) どちらともいえない 3.5%
- (4) どちらかといえばそう思わない 0.3%
- (5) そう思わない 0.5%
- (6) わからない 0.4%



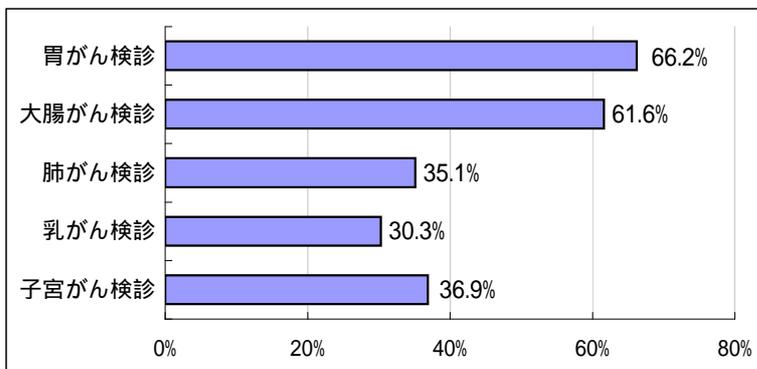
Q4 がん検診を受診したことがあるか(1つ選択)

- (1) ある 64.8%
- (2) ない 35.2%



Q4 - 2 【Q4であると回答した669人に】  
受診したことがあるがん検診を選択(いくつでも選択)

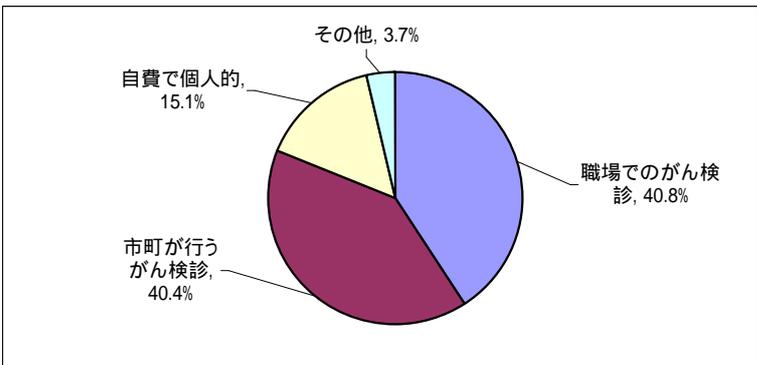
- (1) 胃がん検診 66.2%
- (2) 大腸がん検診 61.6%
- (3) 肺がん検診 35.1%
- (4) 乳がん検診 30.3%
- (5) 子宮がん検診 36.9%



Q5 【Q4であると回答した669人に】  
がん検診をどのような機会に受けたか(1つ選択)

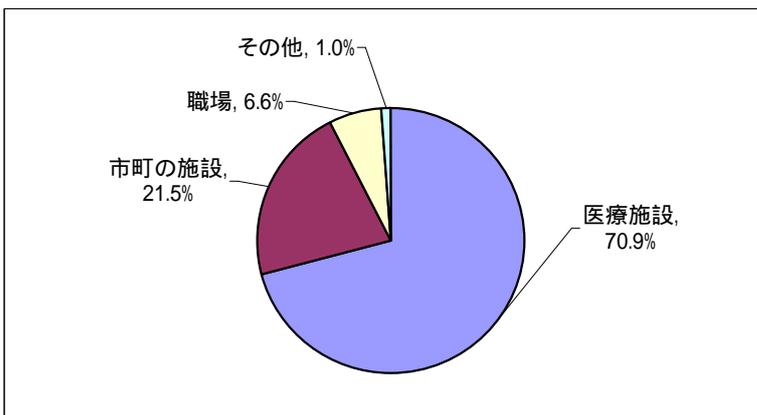
- (1) 職場でのがん検診 40.8%
  - (2) 市町が行うがん検診 40.4%
  - (3) 自費で個人的に 15.1%
  - (4) その他 3.7%
    - ・他の病気や体調不良がきっかけ 9件
    - ・妊娠、出産時 8件
- など 24件

【男性】職場48.1% 市町36.0%  
【女性】職場31.3% 市町46.0%



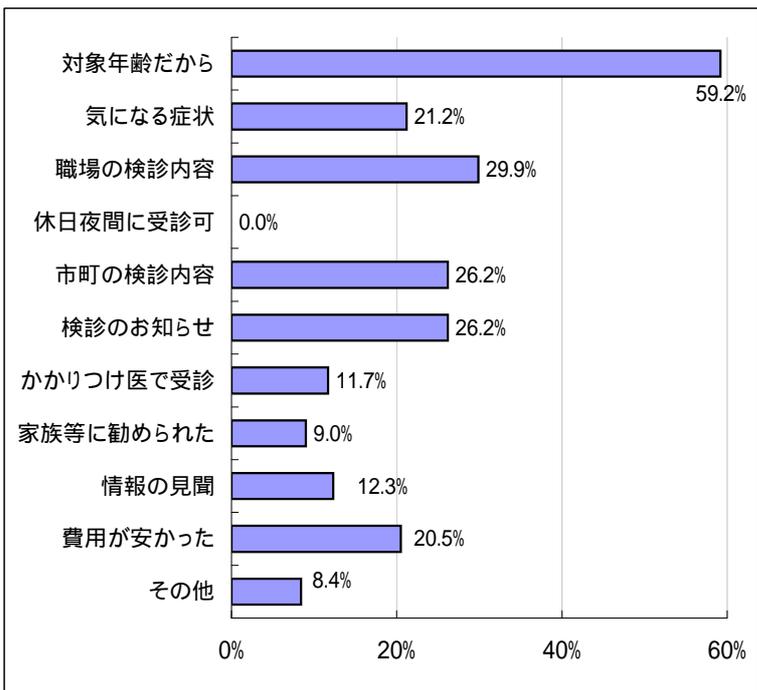
Q6 【Q4であると回答した669人に】  
がん検診をどこで受けたか(1つ選択)

- (1) 病院・診療所・検診機関などの医療施設 70.9%
  - (2) 市町の施設 21.5%
  - (3) 職場 6.6%
  - (4) その他 1.0%
    - ・郵送による検診 4件
    - ・地域検診 2件
- など 7件



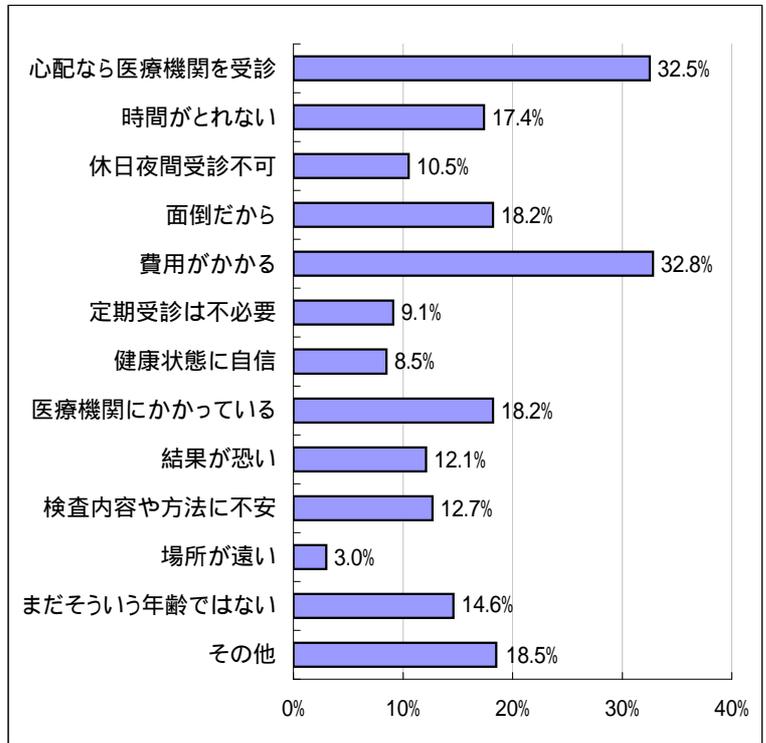
Q7 【Q4であると回答した669人に】  
がん検診を受けた理由は(いくつでも選択)

- (1) がん検診の対象年齢だから 59.2%
  - (2) 気になる症状があったから 21.2%
  - (3) 職場の検診内容にあったから 29.9%
  - (4) 休日夜間に受けられたから 0.0%
  - (5) 市町の検診内容にあったから 26.2%
  - (6) 検診のお知らせが来たから 26.2%
  - (7) かかりつけ医で受診できたから 11.7%
  - (8) 家族や友人等に勧められたから 9.0%
  - (9) 検診を勧める情報を見聞したから 12.3%
  - (10) 費用が安かったから 20.5%
  - (11) その他 8.4%
    - ・自身の健康管理のため 18件
    - ・親族にがん経験者がいるから 10件
    - ・毎年定期的に受診している 10件
- など 55件



Q8【Q4でないと回答した363人に】  
がん検診を受けない理由は(いくつでも選択)

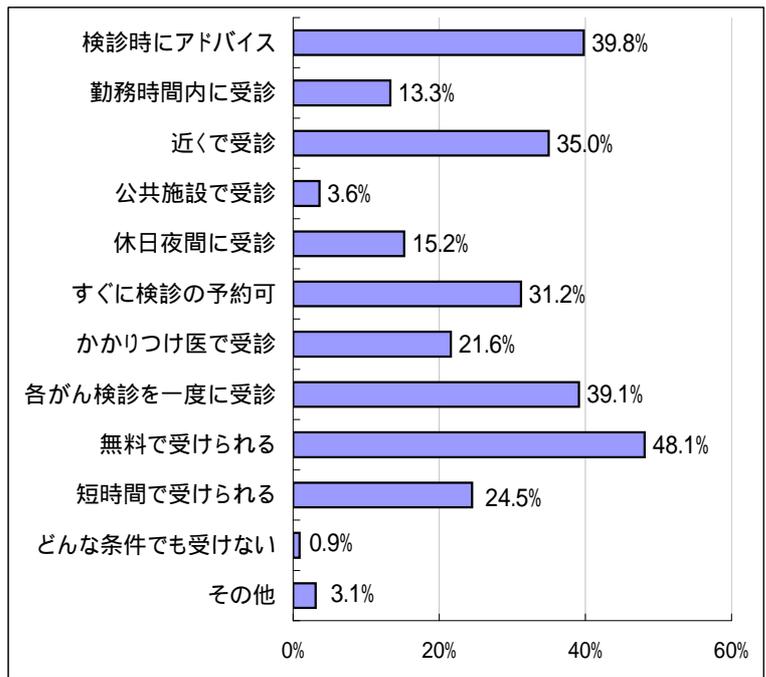
(1) 心配な時は医療機関を受診する	32.5%
(2) 時間がとれない	17.4%
(3) 休日夜間に受けられない	10.5%
(4) 面倒だから	18.2%
(5) 費用がかかる	32.8%
(6) 定期的に受ける必要を感じない	9.1%
(7) 健康状態に自信がある	8.5%
(8) 医療機関にかかっている	18.2%
(9) 結果が怖い	12.1%
(10) 検査内容や方法が分からず不安	12.7%
(11) 場所が遠い	3.0%
(12) まだそういう年齢ではない	14.6%
(13) その他	18.5%
・定期的に健診やドックを受けているから	20件
・知らないから	17件
など	67件



(2) がん検診受診の体制づくり

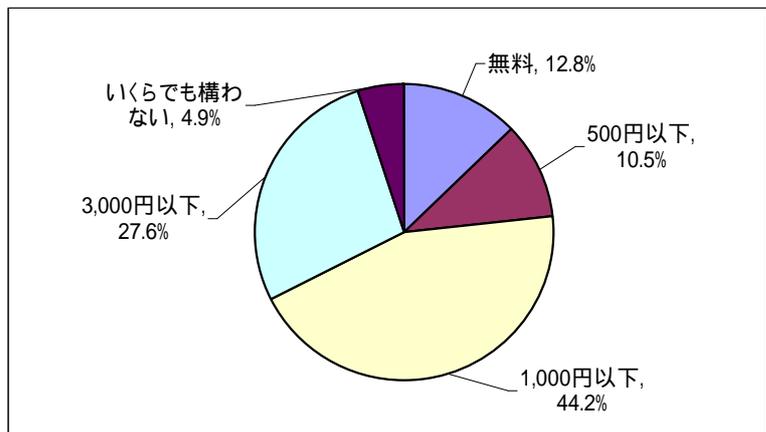
Q9 どのような条件であればがん検診を受診するか (3つまで選択)

(1) 検診時にアドバイス等が受けられる	39.8%
(2) 勤務時間内に受けることができる	13.3%
(3) 職場や自宅の近くで受けられる	35.0%
(4) 駅などの公共施設で受けられる	3.6%
(5) 休日や夜間に受けられる	15.2%
(6) すぐに検診の予約ができる	31.2%
(7) かかりつけ医で、すぐに受けられる	21.6%
(8) 各がん検診が一度に受けられる	39.1%
(9) 無料で受けられる	48.1%
(10) 短時間で受けられる	24.5%
(11) どんな条件でも受けようとは思わない	0.9%
(12) その他	3.1%
・割引、補助等費用面の改善	7件
・託児がある等の環境改善	6件
など	32件



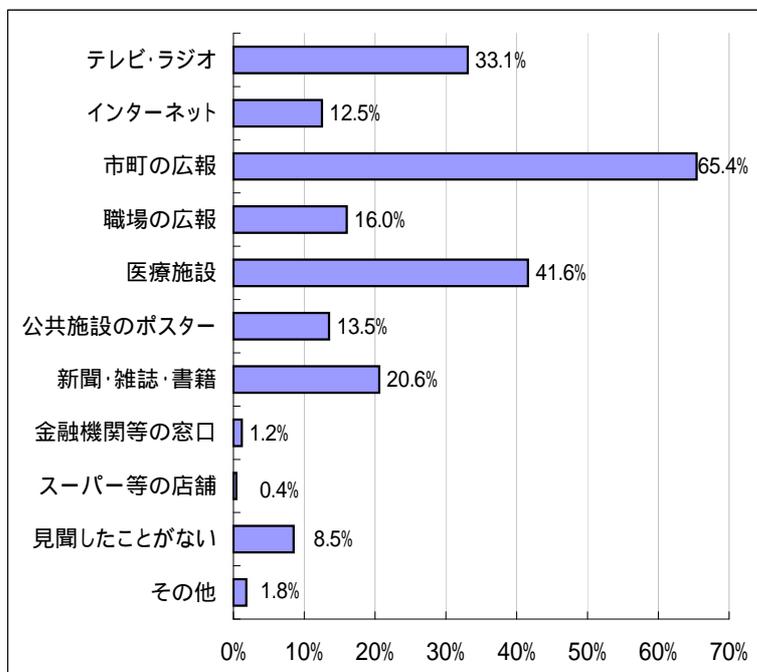
Q10 がん検診の自己負担費用は、1検診いくらまでなら受診するか (1つ選択)

(1) 無料	12.8%
(2) 500円以下	10.5%
(3) 1,000円以下	44.2%
(4) 3,000円以下	27.6%
(5) いくらでも構わない	4.9%



Q11 がん検診を勧める情報についてどこで見聞したか (いくつでも選択)

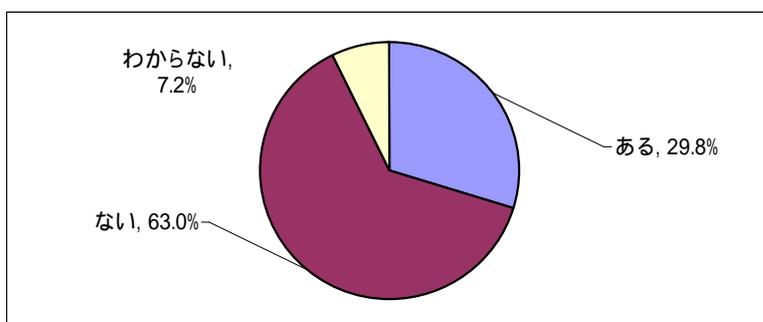
(1) テレビ・ラジオ	33.1%
(2) インターネット	12.5%
(3) 市町の広報	65.4%
(4) 職場の広報	16.0%
(5) 病院・診療所・検診機関等医療施設	41.6%
(6) 公共施設のポスター	13.5%
(7) 新聞・雑誌・書籍	20.6%
(8) 金融機関や保険会社の窓口	1.2%
(9) スーパー等の店舗	0.4%
(10) 見聞きしたことがない	8.5%
(11) その他	1.8%
・親戚、知人、友人	6件
など	19件



(3) 肝炎ウイルス検査について

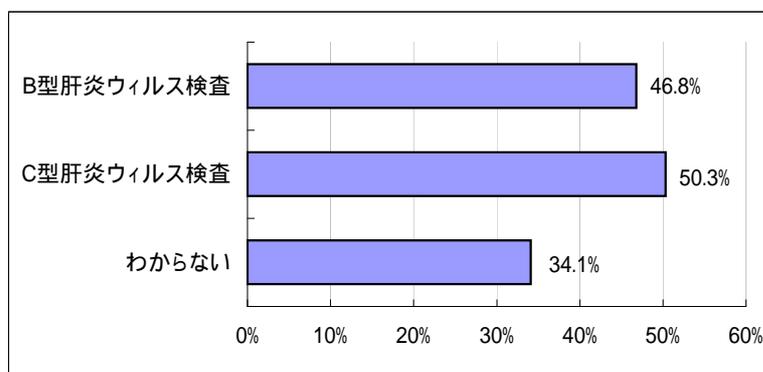
Q12 肝炎ウイルス検査を受診したことがあるか (1つ選択)

(1) ある	29.8%
(2) ない	63.0%
(3) わからない	7.2%



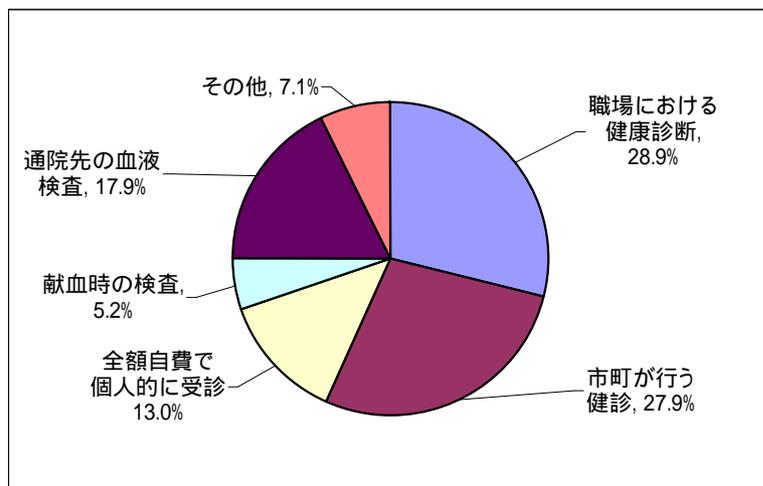
Q12-2 【Q12であると回答した308人に】  
受診した肝炎ウイルス検査の種類は何か (いくつでも選択)

(1) B型肝炎ウイルス検査	46.8%
(2) C型肝炎ウイルス検査	50.3%
(3) わからない	34.1%



Q12-3 【Q12であると回答した308人に】  
どのような機会に肝炎ウイルス検査を受診したか (1つ選択)

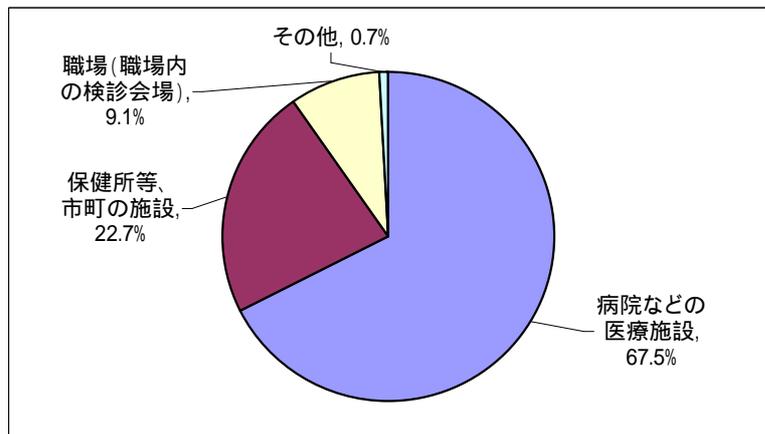
(1) 職場における健診	28.9%
(2) 市町が行う健診	27.9%
(3) 全額自費で個人的に受診	13.0%
(4) 献血時の検査	5.2%
(5) 通院先の血液検査	17.9%
(6) その他	7.1%
・他の病気や体調不良がきっかけ	10件
・妊娠、出産時	5件
など	21件



Q12 - 4 【Q12であると回答した308人に】  
 どこで肝炎ウイルス検査を受診したか  
 (1つ選択)

- |                  |       |
|------------------|-------|
| (1) 病院などの医療施設    | 67.5% |
| (2) 保健所等、市町の施設   | 22.7% |
| (3) 職場(職場内の検診会場) | 9.1%  |
| (4) その他          | 0.7%  |
| ・地域の集会所、公民館      | 2件    |

など



Q13 がん検診受診の向上に関するその他自由意見

- |  |      |
|--|------|
| ・個別の案内送付や、キャンペーンの実施等、啓発活動の改善や強化が必要           | 137件 |
| ・無料検診の実施や、費用補助などがあると良い                       | 119件 |
| ・近くの病院で受けられる等、受診環境の手軽さが必要                    | 101件 |
| ・各種がん検診が一度で受けられることや、検診時の身体的負担の軽減等、検査方法の改善が必要 | 38件  |
| ・自己管理が重要                                     | 27件  |
| ・定期健康診断で必須項目にする等、検診の義務化が必要                   | 26件  |

など 525件

企画県民部知事室広報課広聴室広聴係 (TEL078-362-3021)